

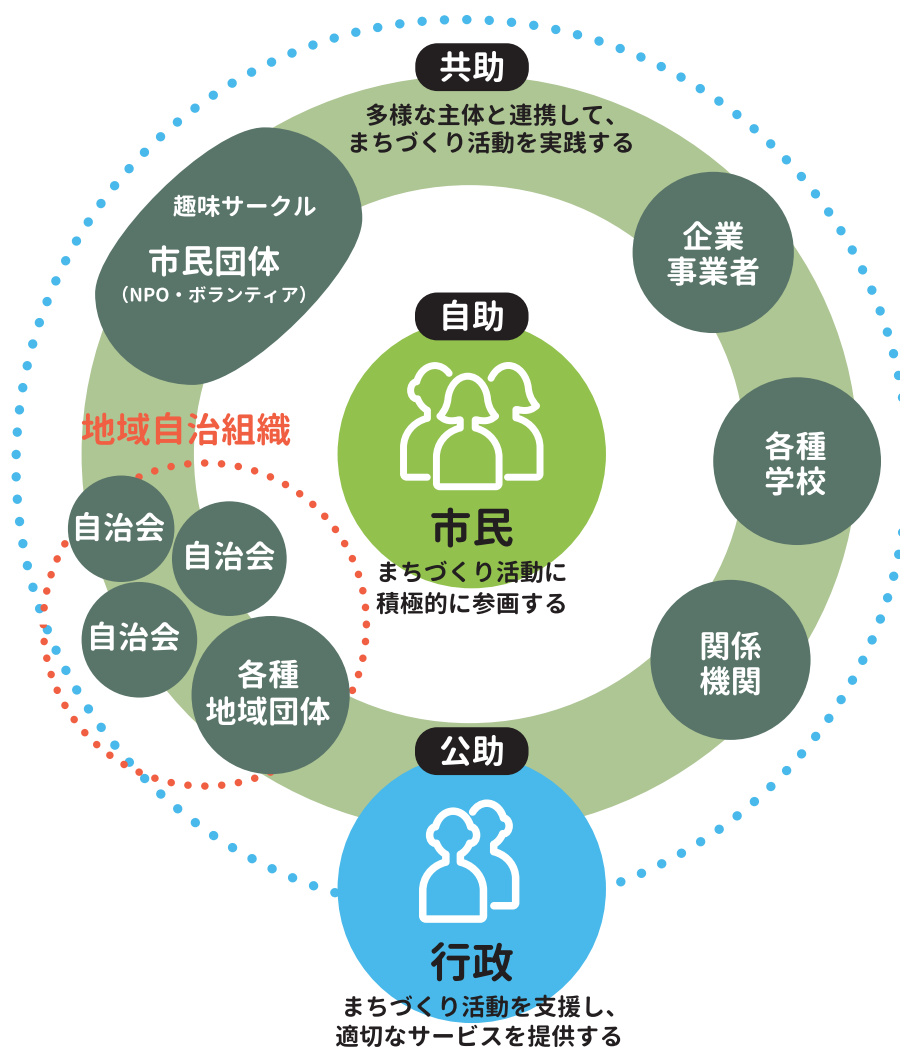
第4章 計画の進め方

1 協働によるまちづくりの推進

めざすべきまちの将来像の実現に向けた取り組みは、行政だけが進めるものではありません。「自助・共助・公助」による「補完性の原則」に基づき、南丹市にかかわる全ての人々がまちづくりに参画することが求められます。

このことから、市民・各種団体・事業者・行政などは、それぞれ以下のような役割分担のもと、十分な協力・連携を図りつつ、一人ひとりができることから行動を起こし、協働によるまちづくりを進めていく必要があります。

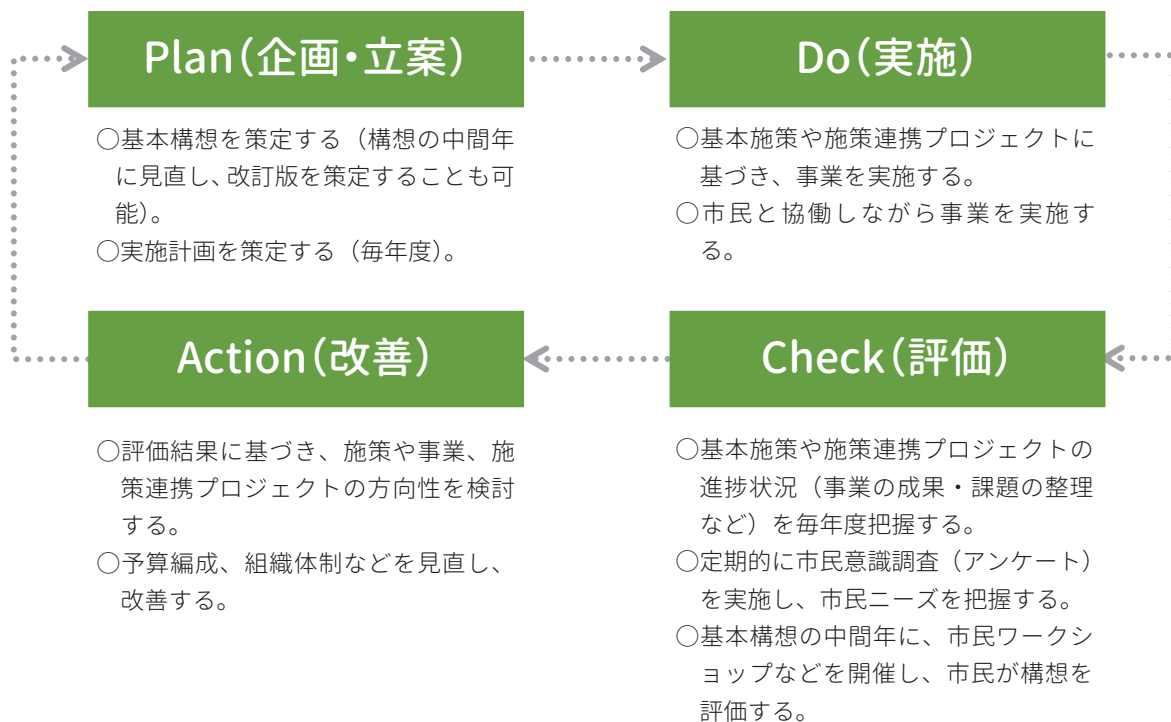
「補完性の原則」に基づく協働のまちづくりのイメージ



2 計画の進行管理

(1) PDCAサイクルによる進行管理

本計画を着実に推進していくため、PDCAサイクルに基づく進行管理により、効果的・効率的な行政運営につなげます。個別計画の進捗管理との整合を図ることはもちろん、外部環境の変化や市政全般の動きなどを踏まえ、行政内部の視点だけでなく、外部からの視点も取り入れ、市民参加のもと、総合的に進捗度と達成状況を確認し、適切な改善を行います。



(2) 計画の見直し等

第2次南丹市総合振興計画は「基本構想」「実施計画」の2層により構成しており、PDCAサイクルによる進行管理などに基づき、次のとおりとします。

① 基本構想

5年をめぐりに見直しできるものとします。

② 実施計画

3カ年の計画をローリング方式により毎年度策定します。

③ 施策連携による計画の推進

(1) 施策連携について

人口減少や少子高齢化、地域コミュニティ機能の低下などが進む社会経済情勢のなかで、まちの課題は多様化・複雑化しており、分野をまたがった課題が多くなってきています。

本計画は、基本的には基本方針ごと基本施策ごとに事業を展開していきますが、異なる基本方針の基本施策を連携させることにより、相乗的な効果が生まれ、効果の向上が見込まれる取り組みについて、「施策連携プロジェクト」として位置づけ、行政担当部署の連携のみならず、市民や関係機関・団体、事業者などとも連携し、協働による推進を図ります。

(2) 施策連携プロジェクト

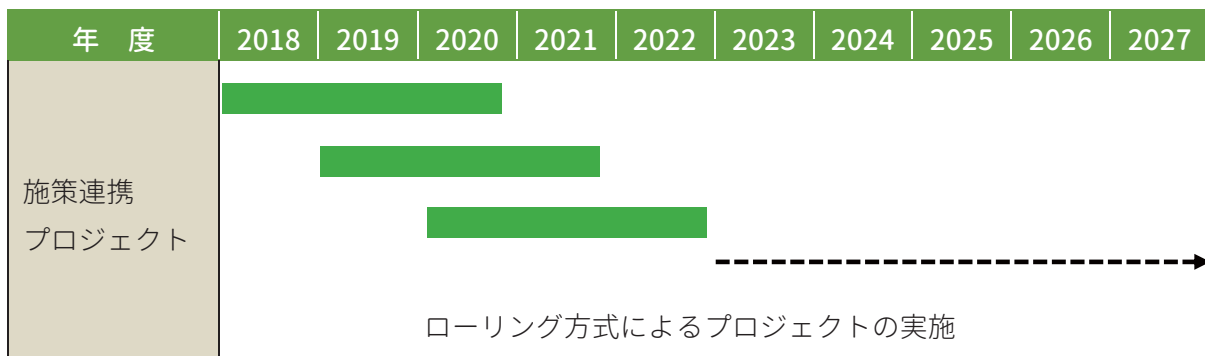
次の5つのプロジェクトを掲げますが、今後の社会経済情勢や市民ニーズの変化などに対応し、見直しを図るなど随時設定できるものとします。

- プロジェクト1 なんたん健幸（けんこう）都市プロジェクト
- プロジェクト2 地域とともにある学校づくりプロジェクト
- プロジェクト3 まるごと体験交流ツーリズムプロジェクト
- プロジェクト4 バイオマスを中心としたグリーンプロジェクト
- プロジェクト5 「なんたんブランド」プロモーションプロジェクト

(3) 施策連携プロジェクトの推進体制

各プロジェクトについては、プロジェクト主担当課を中心に実施スケジュールを策定し、事業の熟度、優先性及び財政状況などに基づき、ローリング方式による見直しを行いながら実施します。

施策連携プロジェクトスケジュール



① なんとん健幸（けんこう）都市プロジェクト

健康寿命の延伸に向けて、地域ぐるみの「健康づくり」、健康な暮らしを支える「地域コミュニティの活性化」をベースに、南丹市の豊かな農作物を通じた「食と健康」、農業や交流事業などへの参加を通じた新たな「生きがいづくり」を推進し、健康増進が地域経済の活性化につながる取り組みについても検討を進めます。

取り組み例

- 各種団体、事業者、大学、医療機関などと連携した、健康づくりや介護予防のメニューの充実
- 健康づくりにつながる地域でのスポーツの推進と地域のつながりづくり
- 子どもから高齢者まで、ライフステージに合わせた食育の推進 等

関連する基本施策

◎健康づくりの推進

⇔地域福祉の推進／地域医療体制の充実／社会保障の充実／家庭や幼児教育の充実／学校教育の充実／生涯スポーツ環境の充実／地域コミュニティ活動の活性化／農業の振興／林業の振興 等

② 地域とともにある学校づくりプロジェクト

次世代を担う子どもたちを、地域・家庭・学校が連携・協働して育てていくために、めざす子ども像や地域の在り方を共有し、その実現に向けて、それぞれの役割を果たすことで、地域への愛着を深めた南丹市の将来の担い手育成につなげていきます。

取り組み例

- 地域コーディネーターの配置による学校と地域の連携強化
- 地域資源の活用や地産地消などを通じた、地域への理解と愛着を深める教育プログラムの充実
- 市内の事業者や大学などを巻き込んだ、魅力ある教育プログラムの充実 等

関連する基本施策

◎学校教育の充実／家庭や幼児教育の充実

⇔青少年の健全育成／地域コミュニティ活動の活性化／協働のまちづくりの推進／子育て支援の充実／商業の振興 等

③ まるごと体験交流ツーリズムプロジェクト

行政内部の観光・環境・農業・商業など各分野の連携・協働だけでなく、民間事業者や地域団体、大学との連携・協働は不可欠です。多様な視点からアイデアを出し合い、魅力的な体験プログラムの企画・運営を通じて、地域経済の活性化を図っていきます。

取り組み例

- 京都丹波高原国定公園などの自然資源を多面的に活用した体験プログラムの充実
- 市内各地域の資源をつなげた回遊型ツアープログラムの充実
- 市内の事業者や大学、工芸家などと連携した、新たな体験プログラムの充実 等

関連する基本施策

◎観光の振興／エコツーリズムの推進

⇔農業の振興／林業の振興／工業の振興／商業の振興／交流活動の推進／自然環境の保全／地球環境の保全／資源循環型社会の形成／伝統文化の継承／公共交通の充実 等

④ バイオマスを中心としたグリーンプロジェクト

バイオマスなどエネルギー資源の利活用を広げていくことで、農林業の活性化や事業者・家庭でのエネルギーの地産地消を進め、さらに資源循環をテーマとした環境学習などにつなげることで、地域経済の活性化や市民活動の活性化などにつなげていきます。

取り組み例

- 資源循環を促すバイオマス利活用のモデル事業の導入
- バイオマスを含めた再生可能エネルギーの公共施設などでの利用促進の検討
- バイオマス事業をテーマとした環境学習や観光振興、エコツーリズムなどへの活用 等

関連する基本施策

◎地球環境の保全

⇔自然環境の保全／資源循環型社会の形成／下水道の充実／エコツーリズムの推進／観光の振興／農業の振興／林業の振興 等

⑤ 「なんたんブランド」プロモーションプロジェクト

個性ある市内各地域の資源を生かし、お互いを補い合い、「なんたんブランド」を通じて多くの人を呼び込み、市内の産業を活性化させ、定住促進や観光振興、農林業の振興や豊かな自然環境の保全などにつなげていきます。行政だけでなく、観光や農業、自然環境にかかわる事業者や地域団体、市民活動団体など、幅広い関係主体との連携・協働で取り組みを進めていきます。

取り組み例

- 個性ある市内各地域の資源をつなげ、南丹市全体をテーマとしたブランドイメージづくり
- 農林業、伝統工芸、自然体験など、幅広い体験プログラムのパッケージ化とその充実
- 京野菜の優良産地としてのPRや、農産物を生かした6次産業化の推進
- 丹波ブランドとの連携による「なんたんブランド」づくりと情報発信 等

関連する基本施策

◎観光の振興

- ⇔農業の振興／林業の振興／工業の振興／商業の振興／協働のまちづくりの推進／
交流活動の推進／自然環境の保全／景観の保全・形成 等